「平成３１年度に実施した仕事」の振返りシート（Ａ：裁量有）

記入日　令和　２ 年　６ 月 30 日

事業名称	老人クラブ育成事業費[老人クラブ育成事業]										
予算科目	款	３	民生費	項	１	社会福祉費	目	３	老人福祉費	事業番号	13
事業の種別	□ 市単独　☑ 補助対象　□ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）										
担当部署・課長名	高齢介護　課　高齢福祉　係							課長名	伊野宮　崇		

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策名】 高齢者保健福祉の推進

施策番号	総合計画書（ページ）
２ － ２	51

１ この仕事の目的

❶ 誰（何）を対象にしていますか。	1 ❶の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）
連合会及び市が準拠している東京都の運営要綱に定める要件を満たしている単位老人クラブ（適正クラブ） →	市内の小地域を単位としたおおむね６０歳以上の高齢者３０名以上で組織する団体。
❷ ❶をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	2 ❷の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）
社会奉仕活動、いきがいを高める活動、健康を進める活動、その他の地域社会活動を通じて、社会参加をしている自覚や喜び、いきがいを見出す。 →	単位クラブ　１７クラブ　８８３人 連合会　３３１人 ※いずれも平成３１年４月１日時点の数値
❸ そのために何をしましたか。	3 ❸をどのくらい行いましたか（活動指標）
老人クラブ連合会及び単位老人クラブに対し、社会活動促進を目的とした市補助金を交付する。それにより、会員同士の交流やクラブ活動の活性化が図られ、高齢者福祉の向上を図ることができる。 →	活動指標と同数で設定。

２ 指標の推移

		単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
			平成２９年度実績	平成３０年度実績	平成３１年度実績	令和２年度目標	令和３年度目標
対象指標	1の数値	人	不明	不明	不明		
成果指標	2の数値	人	852	888	883		
目標	2の目標値				888	883	883
	目標値設定の考え方：会員同士の交流やクラブ活動の活性化を図るためにも会員数の減少を抑える。						
活動指標	3の数値	人	852	888	883		

３ 経費

		単位	過去2年間の実績		当該年度
事業費（実績）		円	5,497,746	5,633,822	5,723,117
財源	一般財源	円	2,152,746	2,352,822	2,378,117
	特定財源	円	3,345,000	3,281,000	3,345,000
	（うち受益者負担）	円	0	0	
人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2
	所要人数(再任用)	人			
	職員人件費(再任用以外)	円	1,650,600	1,648,800	1,662,000
	職員人件費(再任用)	円			
事業費＋人件費		円	7,148,346	7,282,622	7,385,117

※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。
人件費（再任用職員以外）
年間単価は、 8,310,000 円
時間単価は、 4,300 円
で計算してください。
【算出根拠】平成30年度決算数値。
(退職手当組合負担金、共済費も含む。)

４ 環境変化等

（１）開始年度　昭和３６年度

（２）環境の変化

老人クラブは昭和２５年ごろに東京や大阪で発生したといわれ、同３２年に都の社会福祉協議会が老人クラブへの助成事業を開始した。当市では昭和３６年に最初のクラブである南街長寿会が発足し、現在は１７クラブが活動を行っている。全国的な傾向ではあるが、平成９年度をピークに会員数が減少してきた。しかし、今後、さらに進展する高齢化や地域コミュニティーの重要性が見直されてきている中で、会員数の増加が求められている。

事業名称	老人クラブ育成事業費[老人クラブ育成事業]		
担当部署・課長名	高齢介護　課　高齢福祉　係	課長名	伊野宮　崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、**平成31年度中**に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	役員のなり手不足などが問題となっており、行政の支援を求める声があった。老人クラブ連合会への未加入団体の加入斡旋を求める声があった。
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）
	☐ 取り組んだ ☑ 取り組まない 取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催　②実行委員会・協議会　③事業協力　④事業委託　⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：　　）⑦後援・場の提供　⑧その他（　　）
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成３０年度に実施した仕事」の振返りシート 7課題（3）を転記）
	特になし
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成３１年度に実施したこと。
	市報に老人クラブの加入を促す記事の掲載
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）
	会員数の減少、会員数の高齢化
8 施策貢献状況 （この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	
	施策名： 高齢者保健福祉の推進 ☑ なっている　☐ 環境の変化等により成果が減少している　☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名：　　）
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7　課題（3）」の課題及び「8　施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）
	☐ 拡大　☑ 現状維持　☐ 縮小　☐ 休止　☐ 廃止 【取組内容】 現状維持が妥当である
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等
	各老人クラブとの連携が必要